

稲荷山養護学校

1 今年度の活用目標と活用状況

稲荷山養護学校は、個のニーズに合わせて、3つのブロックに分けた教育課程と学習グループ編成を行っている。今年度のiPad活用は、各ブロックの児童生徒の特徴やニーズに応じて、学習や生活に役立つアプリを組み合わせ、ブロックごとに有益な活用を進めてもらうことを目標にしている。7月末に貸与されたので、夏休み中に基本的な研修や設定を行い、この9月から活用を開始している。勤務時間終了後に、職員有志が自由に参加できる活用講座を毎日開催し、情報共有を進めている。

1ブロック（肢体不自由の児童生徒。小・中・高の各教科を学ぶ）では、今現在まだ実際の活用は始まっていない。2ブロック（主に知的障がいのある児童生徒）では、VOCA、スケジュール、タイマーなどを中心に活用している。また、音や光などの反応が即時に返ってくるゲーム、アミューズメント系のソフトで楽しむ生徒も多い。3ブロック（肢体不自由を伴う重度・重複障がいの児童生徒）では、読み上げ機能のある絵本ソフトや、音や光を楽しむソフトを感覚遊びとして活用している。

2 使用頻度の高いアプリケーション

(1) 標準搭載ソフト

- ・カメラソフトでの撮影と、写真の閲覧

(2) 後からインストールしたもの

- ・ドロップトーク（VOCAとして、朝や帰りの会の司会などで活用している）
- ・タイムタイマー（タイムエイドとして活用）
- ・たすくスケジュール（自閉症の子がスケジュール確認に活用）
- ・花火職人になろう（2ブロック、3ブロックともに、遊びの時間や自立活動の時間に活用）